



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
 コード番号 6190 URL http://phoenixbio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 島田 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	158	28.7	△171	—	△164	—	△165	—
30年3月期第1四半期	123	△63.4	△136	—	△138	—	△138	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △168百万円 (ー%) 30年3月期第1四半期 △138百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△56.89	—
30年3月期第1四半期	△48.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,056	1,688	82.1
30年3月期	2,169	1,857	85.6

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 1,688百万円 30年3月期 1,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	631	99.5	△67	—	△69	—	△75	—	△26.10
通期	1,498	66.0	124	—	122	—	104	—	35.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	2,905,500株	30年3月期	2,905,500株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	一株	30年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	2,905,500株	30年3月期1Q	2,888,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、米国の保護主義的な政策の影響から貿易摩擦拡大の懸念が生じており、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が活発な状況にあります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループはマウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスを提供しており、世界の手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心とした海外市場の拡大に注力してまいりました。

現在の主力である肝炎試験（薬効評価）においては、開発薬の停滞から減少していた受注高が回復してきており、国内市場、海外市場ともに堅調に推移しました。特に海外市場の受注残高は、複数の大型案件を受注していることから前年同期を大きく上回っております。また、多くの新薬が対象となることから当社グループの成長分野として位置付けるDMPK/Tox試験（薬物動態関連試験、安全性試験）・その他においては、PXB-cells販売で見込んでいた受注額を下回る案件が一部あったものの、売上高は概ね計画どおりとなりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は158,894千円（前年同期比28.7%増）、営業損失は171,110千円（前年同期は営業損失136,074千円）、経常損失は164,698千円（前年同期は経常損失138,034千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は165,279千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失138,722千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,239,468千円となり、前連結会計年度末に比べ99,971千円減少いたしました。これは主に仕掛品が20,679千円増加した一方で、売掛金が70,833千円、現金及び預金が51,471千円、それぞれ減少したことによるものです。また固定資産は816,604千円となり、前連結会計年度末に比べ13,259千円減少いたしました。これは主にのれん償却額の計上によりのれんが9,059千円減少したことによるものです。この結果、資産合計は2,056,073千円となり、前連結会計年度末に比べ113,231千円減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は289,086千円となり、前連結会計年度に比べ68,252千円増加いたしました。これは主に前受金の増加によりその他が77,406千円増加したことによるものです。また固定負債は78,189千円となり、前連結会計年度末に比べ12,901千円減少いたしました。これは主に長期借入金11,001千円減少したことによるものです。この結果、負債合計は367,276千円となり、前連結会計年度末に比べ55,350千円増加となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,688,797千円となり、前連結会計年度に比べ168,582千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が165,279千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月15日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	932,937	881,465
売掛金	140,209	69,375
製品	46,036	54,278
仕掛品	43,705	64,384
原材料及び貯蔵品	101,806	101,420
その他	74,746	68,544
流動資産合計	1,339,440	1,239,468
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	109,794	106,812
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	19,604	19,637
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	25,094	23,964
有形固定資産合計	450,493	446,414
無形固定資産		
のれん	362,372	353,313
その他	4,945	4,534
無形固定資産合計	367,317	357,848
投資その他の資産	12,053	12,341
固定資産合計	829,864	816,604
資産合計	2,169,304	2,056,073
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,389	16,303
1年内返済予定の長期借入金	56,004	53,004
未払法人税等	5,797	3,729
その他	138,643	216,049
流動負債合計	220,833	289,086
固定負債		
長期借入金	48,489	37,488
資産除去債務	3,014	3,030
その他	39,587	37,671
固定負債合計	91,091	78,189
負債合計	311,925	367,276

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,245,242	2,245,242
資本剰余金	465,152	465,152
利益剰余金	△845,256	△1,010,535
株主資本合計	1,865,138	1,699,859
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,759	△11,062
その他の包括利益累計額合計	△7,759	△11,062
純資産合計	1,857,379	1,688,797
負債純資産合計	2,169,304	2,056,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	123,448	158,894
売上原価	71,128	58,440
売上総利益	52,320	100,453
販売費及び一般管理費	188,395	271,564
営業損失(△)	△136,074	△171,110
営業外収益		
受取利息	9	94
為替差益	—	6,375
その他	92	416
営業外収益合計	102	6,886
営業外費用		
支払利息	420	473
為替差損	1,641	—
営業外費用合計	2,061	473
経常損失(△)	△138,034	△164,698
特別損失		
固定資産除却損	108	1
特別損失合計	108	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△138,143	△164,700
法人税、住民税及び事業税	579	579
法人税等合計	579	579
四半期純損失(△)	△138,722	△165,279
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△138,722	△165,279

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△138,722	△165,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	720	—
為替換算調整勘定	△207	△3,302
その他の包括利益合計	513	△3,302
四半期包括利益	△138,208	△168,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△138,208	△168,582

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式発行)

当社は、平成30年6月28日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を行うことについて決議し、平成30年7月13日に払込が完了いたしました。

1. 発行の目的及び理由

当社は、平成29年5月23日開催の取締役会において、当社の取締役(社外取締役を除く)が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、当社の取締役(社外取締役を除く)に対し、譲渡制限付株式を割り当てる報酬制度を導入することを決議いたしました。また、平成29年6月28日開催の第16期定時株主総会において、本制度に基づき、譲渡制限付株式に関わる報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を、年額120百万円以内として設定することにつき、ご承認をいただいております。

2. 発行の概要

① 払込期日	平成30年7月13日
② 発行する株式の種類及び数	当社普通株式17,200株
③ 発行価額	1株につき1,001円
④ 発行総額	17,217,200円
⑤ 資本組入額	1株につき500.5円
⑥ 資本組入額の総額	8,608,600円
⑦ 募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
⑧ 出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
⑨ 割当対象者及びその人数並びに割当株式数	当社取締役(社外取締役を除く)4名に対して17,200株
⑩ 譲渡制限期間	平成30年7月13日から平成50年7月12日
⑪ その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

3. 補足情報

(1) サービス別売上高

		前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
肝炎関連売上	国内	34,920	28.3	34,261	21.6
	海外	20,435	16.6	42,831	27.0
DMPK/Tox関連 ・その他売上	国内	28,392	23.0	32,973	20.7
	海外	39,699	32.1	48,828	30.7
合計		123,448	100.0	158,894	100.0

(2) サービス別受注高

		前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
肝炎関連売上	国内	133,684	102,229	112,848	78,586
	海外	143,010	158,108	106,213	289,079
DMPK/Tox関連 ・その他売上	国内	60,575	45,339	38,001	8,029
	海外	18,433	50,217	49,146	153,645
合計		355,704	355,894	306,210	529,341

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高及び受注高を記載しております。